

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインII				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	65
授業概要、目的、授業の進め方	カナダ留学の振り返り、国際ホテル科のみのインフォメーションやキャリアデザインを行う帰国後～インターンシップに出掛けるまでの間のキャリアデザイン。				
学習目標 (到達目標)	学校生活や仲間づくりに困らないように過ごす				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	留学後のインフォメーション				
3～10	留学時のレポート作成				
11～15	インターンシップ先の企業研究				
16～20	クラス授業				
21～30	クラスインフォメーション				
31～40	インターンシップ先の企業研究				
41～45	クラス授業				
46～55	インターンシップ先の企業研究				
56～60	インターンシップ後のインフォメーション				
61～65	クラスインフォメーション				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			インフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る インターンシップへの不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践行動学、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	インターンシップ前座談会				
11～20	インターンシップレポート、インターン先下調べ、大掃除				
21～25	インターンシップ振り返りレポート作成、後期時間割説明				
26～30	学年決起スポーツ大会の実施				
31～40	避難訓練、業界セミナー				
41～50	海外研修旅行説明会				
51～54	海外研修下調べ				
55～60	求職登録面接対策				
61～70	アンケート実施、履歴書用写真撮影、クレベリン実施、クラス交流、大掃除				
71～80	時間割説明、今後のスケジュールについて				
81～90	求職登録面接、就職対策				
91～100	学年交流、修了式、大掃除				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	就職研修				
5 6	情報収集・企業研究				
7 8	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
9～12	就職研修				
13～15	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
16～19	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
20～30	就職研修 履歴書の写真撮影など				
31～32	面接指導				
33～45	首都圏就職研修				
46～51	就職研修				
52～58	面接練習・添削指導				
59～60	就職研修 グループディスカッション				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。 アプリの活動を忘れずに行う。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○		
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4					
5					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校

科目名	実用英検対策(英会話)			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1. 外国人と話すことになれる。英会話の楽しさをしり、表現を多く身につける。自己紹介の表現ができる。</p> <p>2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要な中的に学ぶ。</p> <p>3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。</p>			
学習目標 (到達目標)	英会話の向上			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 5th(student book) リスニングCD			
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・評価	
1 2	Unit3 How much are these? Shopping and prices; clothing and personal items; colors and materials			
3~6	Unit4 Do you play the guitar? Music, movies, and TV programs; entertainers; invitations and excuses; dates and times			
7~10	PROGRESS CHECK PAGES 28-29		単語テストあり	
11 12	Unit5 What an interesting family! Family members; typical familiesの表現に 対しての答え方を理解し、使い分けて表現できる。質問、答える側のどちらになっても使い分けができる。			
13 14	Unit6 How often do you run? Sports, itness activities, and exercise; routines PROGRESS CHECK PAGES 42-43			
15 16	Unit 7We went dancing! Free-time and weekend activities			
17 18	Unit 8 How's the neighborhood? Stores and places in a city; neighborhoods; houses and apartments			
19~20	【期末テスト】 今までの学習内容を出題(リスニング含む)し、60%以上の得点がとれる。			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全員準2級を取得しており、中学英語までは理解	
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Communication II				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	<p>留学からの帰国直後の授業のため、レベルチェックと英語力低下防止のための授業として活用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> それぞれの留学経験をスライド（3枚程度）と英文でまとめる。 文法・表現方法・伝わりやすさ・発音などの指導。 発表する基本姿勢や英語のフレーズを使いこなせる。 				
学習目標 (到達目標)	授業はすべて英語で行われ、自分で作成したスライドをもとに、留学で身につけた文法力、発音を活かし、自分の留学生生活を語ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	日常会話 自己紹介 他己紹介を英語で行う レベルチェック		PC、各自の個人作業		
2 3	カナダでの生活をまとめたレポートを参考に英語に直し、写真を付けてスライドを完成させていく。				
4 5	一人ずつチェックを受ける				
6 7	カナダでの生活をまとめたレポートを参考に英語に直し、写真を付けてスライドを完成させていく。				
8	一人ずつチェックを受ける				
9 10	発表・感想・質問・まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>実習課題 60%、学習意欲 40%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースII				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年・国2年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者に向けて発表する				
学習目標 (到達目標)	進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	進級制作発表会の概要と心構え				
3 4	テーマ・タイトル決め				
5 6	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成				
7 8	スケジュール作成				
9～22	制作時間				
23～26	チームごとのリハーサル①				
27～34	チームごとのリハーサル②				
35～45	制作時間				
46～55	全体リハーサル				
56～65	最終リハーサル				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC II (Listening)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの発展問題を解きながら、650点をを目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、650点をを目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	Part1 写真描写問題 問題形式を把握する		CDを使いながら問題を解き、解説する P45～		
3・4	Part2 First Speakerの発音のタイプを知ろう		CDを使いながら問題を解き、解説する P57～		
5・6	Part3 会話問題		CDを使いながら問題を解き、解説する P69～		
7・8	Part4 説明文問題 言い換え表現を見つけよう		CDを使いながら問題を解き、解説する P81～		
9～12	総合復習				
13～15	期末テスト 振り返り		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Listening定期試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC II (Reading)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	TOEICの発展問題を解きながら、650点をを目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Part 5で得点をあげるために、単語ごとに品詞の理解をする。 2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、650点をを目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	Part 5	問題形式を把握しよう 時制 自動詞・他動詞 分詞など	問題集の問題を中心に解いて、解説する P 9 5～		
6～10	Part 6	特に出やすい文法項目をおさえよう 動詞の語形変化	問題集の問題を中心に解いて、解説する P 1 6 3～		
11～15	Part 7	解答の手順を理解し、テクニックを知る	問題集の問題を中心に解いて、解説する P 1 7 7～		
16・17	総合問題		過去問題にチャレンジ		
18～20	期末テスト・振り返り		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Reading定期試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Expression II				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	なし		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>雑誌やDVDなどから日常表現を学び、同じスピード、発音をもって話せるようになる。</p> <p>1、身の回りの表現を英語で話してみる、自分のこと、家族のこと、得意なことなど</p> <p>2、DVD、洋楽の表現からスピード、発音の練習</p> <p>3、英語で表現する楽しさを体感する</p>				
学習目標 (到達目標)	日常表現を身につけ、留学時に役に立てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	イントロダクション 自己紹介		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
3 4	DVD Friendsから表現を学ぶ 記事データから表現を学ぶ				
5 6	自分ストーリーを織り交ぜた、紙芝居をつくる		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
7 8	自分ストーリーを織り交ぜた、紙芝居をつくる		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
9・10	各自のシェアタイム/テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
宿題チェック 20% テスト 20% 学習意欲60%			英検準2級レベルの学生たちなので、基本文法よりも日常会話や身近な表現をもとに進めるほうが効果的である。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校

科目名	Dramatic Production I (演者・プレゼン表現)			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	<p>スピーチ文や劇を自分たちなりにまねたり演出したりする。英文をただ読むのではなく、場で読み分ける力をつける。さらにグループワークを通じて、スピーチ文や劇を組み立てるこしていなければならない構成力や役になりきり表現する力を磨く。</p> <p>伝わりやすい表現や抑揚、発音を習得し、スティーブジョブズや米国大統領のように表情豊TEDを使い、周りを引きこむ工夫を体感しながら、真似をすることから始める。</p>			
学習目標 (到達目標)	英語プレゼンテーションコンテストの練習や本番で表現力を担当者や審査員から褒められる			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TED、各種ビデオ教材			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・イ		
1.2	レベルチェック・チーム分け・introduction	TED		
3.4	TED① 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習			
5.6	発音・抑揚チェックを受けながら練習			
7.8	グループ練習・リハーサル			
9.10	発表			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
発表評価80%、学習意欲20%		やりやすい役柄ばかり選ぶのではなく、異性や場の人物を選ぶことで表現の幅が広がる。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

学校 シラバス

後期
10
面や状況に応じ とで本質を理解 かに表現する。
。
備考
いつもは選ばない立

②

国際ホテル・ブライダル専門学校

科目名	Discussion I			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	2年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	ひとつの物事をいろいろな側面から見る力をつける。答えは一つではなく、立場や状況によつて理解し、できないと決めつけるのではなく、できる方法を考え、アドバイスする前向きける。			
学習目標 (到達目標)	相手を否定せず、相互理解をする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・復習		
1.2	お題①自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
3.4	聞くこと、受け入れることについて話し合う。			
5.6	お題②自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
7.8	お題②自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
9.10	お題③自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
11.12	学生がコーディネーターをするにはどうしたらいいかを話し合う			
13~15	お題④学生がコーディネーターをしながら、ディスカッションする。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		相手を否定することや常識で判断することは必須		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

学校 シラバス

通年

15

ってことなるこ
な思考を身に着

備考

要ない。